

～ 多電極挿入型電磁流量計の採用事例 ⑦ ～

《監視システムの充実化 & トータルコストの削減》

お客様：H市水道局様 / 配管口径：100A～350A / 用途：配水流量計等（新設）

H市様は市町村合併で拡大された配水エリアの中央監視化を進めることになりました。

しかし山あいにはまで点在した既存の施設には、流量計などの機器や通信設備が設置されていない箇所も多く、全体のコストは膨大になるため、それを抑制する必要がありました。

また施設の多くは流量計の設置が想定されておらず、敷地が狭い、ピットもバイパス管もない、ピットの水没の可能性、断水不可など、物理的、技術的問題も多数ありました。

そこで以下のようなメリットを持つメタルマルチマグが採用されました。

- ・ 小さなピットで設置が可能、バイパス管も不要 = 物理的問題の解消、工事費の軽減
- ・ 狭い配管スペースでも設置が可能 = 物理的問題の解消
- ・ 一定以上の口径になると機器費のメリットが大きい = 機器費の軽減
- ・ 設置、メンテナンスに断水不要 = 施工者および住民の負担軽減
- ・ 水没対応可 = 環境的不安の解消
- ・ 信号出力で遠隔監視に対応
- ・ 高精度の測定

メタルマルチマグであれば従来の電磁流量計では諦めなければならなかった場所にも設置が可能で、断水も不要です。また超音波流量計のような測定精度への不安もありません。

一定以上の口径になると機器費のメリットも大きくなり、土木工事や配管工事も含めるとトータルコストに差が出ます。これが複数箇所となる場合、その差は歴然です。

メタルマルチマグは、ワンランク上の監視システムを実現します。

《G市水道局様 施工例》



山あいの林道にピットを新設



ピット内部